

ICT 活用の推進・校内研修の活性化・家庭学習の充実、地域との連携

(1) ICT 活用の推進

① 子供たち一人ひとりが承認される学習環境の設定

★ICT を活用した学習環境の設定…

- 互いの考えを認め合う場
- 自分の思いや考えを表現する場
- 個人の特性に応じた多様な学習機会

ロイノートや GoogleClassroom 等の
学習支援ツールを活用した表現活動や情報共有

ICT を活用した学習状況把握

大型提示装置で教材等をわかりやすく提示

② 個別最適な学びと協働的な学びの充実

★学ぶ道具としての日常的な ICT 活用で…

- 自らに必要な知識や技能を習得する。
- 他者との対話を通して、自らの考えを広げる。
- 興味・関心に応じて、情報を適切に選択し活用する。

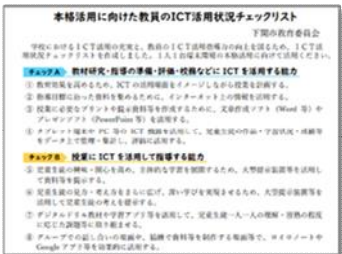
インターネットで情報収集

デジタルドリル・学習アプリの活用

学習支援ツールを活用した情報発信

情報モラル・リテラシーの育成

③ 教員の ICT 活用状況チェックリストの活用



このチェックリストは、各学校における ICT 活用の充実と、教員の ICT 活用指導力の向上を図るため、下関市の ICT 環境を考慮して作成しています。ICT の効果的な活用は、「主体的・対話的で深い学び」の実現へとつながります。ICT 活用に向けた 1 つの指標として活用ください。

(参照：令和3年9月14日付け下教研第1243号)



(2) 校内研修の活性化

① 児童生徒の実態や調査結果に合わせて、校内研修体制や学力向上プラン等の見直し・改善を進める。

【例】「読書」の課題解決に向けて、学力向上プランに「読書の習慣化」を図るための視点を取り入れる。

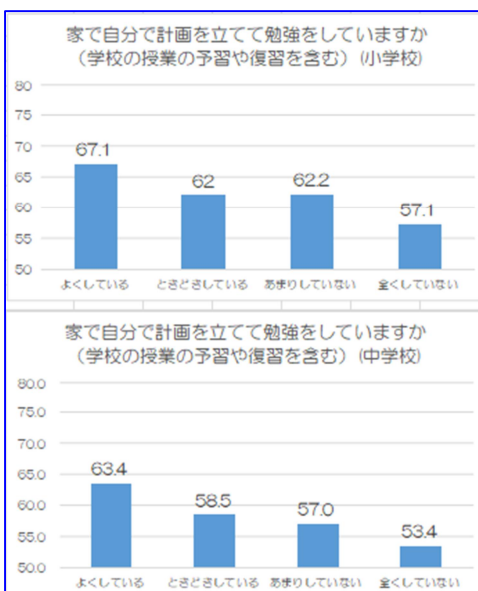
【例】「書く力」の課題解決に向けて、条件作文の取組を全校共通理解のもと実施する。

② 全校的・系統的に ICT の効果的な活用を進めることができるよう、取組の共有、分類・整理等を計画的に進める。

【例】タブレット端末や電子黒板の活用例を職員間で共有し、有効性の検討を行う。

【例】定期的にミニ研修会・情報共有会を実施する。

(3) 家庭学習の充実、地域との連携



左のグラフは、児童生徒質問紙の結果と平均正答率 [国算(数)合算] のクロス集計を行ったものです。家で自分で計画を立てて勉強をしている児童生徒ほど平均正答率も高い傾向が見られます。

- 家庭学習の方法や内容を具体的に示したり、取組の成果を価値づけたりする等、家庭学習の充実を図る。
- 自主学习等への取組意欲を向上させる。
(好事例の紹介、努力の視覚化、各種便りでの発信 等)
- 小中9年間の学びをつなぐ「家庭学習の手引き」を家庭だけではなく学校運営協議会等の地域の方々にも紹介し、地域全体で「児童生徒の学びの姿」を共有する。
- ユニット型研修を実施する。
- 9年間の学びを意識した学校・地域連携カリキュラムを活用する。
- 地域の方々への協力による学習支援を推進する。
…ゲストティーチャー、学習補助、放課後学習サポート 等